

阿南市桑野小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 129名
- ② 校訓，めざす児童像等
 - ・すすんで運動に取り組み，心身共に健康な子
 - ・よく考え，学習に積極的に取り組む子
 - ・自分も友だちも大切にし，仲良く助け合う子
 - ・めあてを持って最後までやり抜く子
- ③ 環境目標・テーマ
 - ・学校・家庭で「節水・節電」「ごみ分別」「リサイクル」活動に進んで取り組む児童づくり
 - ・地域と共に「リサイクル」に取り組む学校づくり
 - ・地域に出向いて，環境美化活動や自然活動などの体験活動を行う積極的な学校づくり



2 行動方針

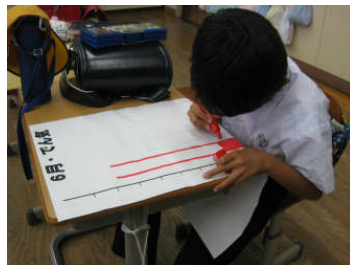
- ①学校における節電・節水に努めます。
- ②学校におけるごみの分別に努めます。
- ③学校におけるリサイクル活動を行います。
- ④節水・リサイクル活動を地域・家庭に広げます。
- ⑤地域にある河川の水質検査を通じた学習を実施します。

3 行動

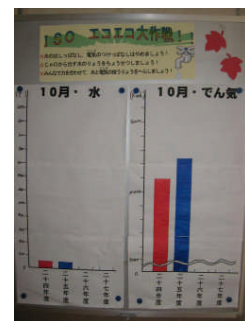
①節電・節水



朝会で電気と水の使用量のグラフ（昨年度との比較）を提示し，節電節水の意欲を喚起する



委員会でグラフ作成をする



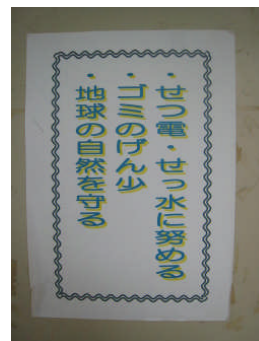
玄関 I S O コーナー



節水を喚起するステッカー



節電を喚起する
ステッカー



節電・節水の呼びかけ

②リサイクル活動



段ボール回収：地域ボランティアの協力で段ボール回収を毎週している。搬出は月1回。



資源ごみ回収：PTA文化部和地域役員が協力して年2回実施している。



エコキャップ回収：委員会が児童に呼びかけて回収している

③ ゴミの分別



ごみステーションの分別コーナー
分別の表示も掲示・美化委員会で制作



教室のごみ箱の表示もごみステーションと同じにしている

④ 河川の水質検査



川西傍示子ども会による河川の水質検査を，地域の方と共に実施し，河川の環境について調査・研究を行った

4 具体的効果

- ◆ ごみの分別については，各教室等に分別用のごみ箱があり，かなり分別が習慣化してきている。
- ◆ 自然環境保護のためにリサイクルすることの大切さを，学年が発達段階にに応じて考え，認識し，実践できるようになってきている。
- ◆ 節電・節水について，カードを教室や廊下などにはったり，電気と水の使用量をグラフ化して全校朝会で呼びかけたりすることで，児童・職員の意識が高まり，効果が上がりつつある。
- ◆ 段ボール回収やエコキャップ回収などのリサイクル活動が地域に定着し，協力してくれる家庭がたいへん多くなっている。

5 改善点

- ◆ 学校・家庭・地域がさらに連携し，活動を継続できるように啓発方法を工夫し，資源ごみの回収率を高めていきたい。
- ◆ ISOコーナーをさらに充実し，児童の意欲や意識の向上につなげたい。
- ◆ 環境学習を教科や総合的な学習の時間に位置づけ，どの学年でも計画的に環境問題について考える機会を設けることが必要である。